



# 2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2025年2月5日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社  
コード番号 2897 URL <https://nissin.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員・CFO  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

上場取引所 東  
TEL 03-3205-5111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	582,277	6.1	67,445	△7.4	60,500	△11.8	62,056	△12.5	43,577	△11.2
2024年3月期第3四半期	548,922	9.5	72,801	41.8	68,559	40.8	70,902	40.2	49,051	40.5

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円銭		円銭	
2025年3月期第3四半期	145.33	144.40		
2024年3月期第3四半期	161.32	160.32		

当社は、2022年3月期より既存事業コア営業利益を開示しております。既存事業コア営業利益とは新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除した指標であります。

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	%	%
2025年3月期第3四半期	868,451		517,927		479,007		55.2	
2024年3月期	812,382		535,010		493,185		60.7	

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2024年3月期	—	80.00	—	40.00	—
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期第2四半期の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年3月期の年間配当金合計については、株式分割の実施により単純合算ができないため、「—」と記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年3月期の期末配当金は120円00銭、年間配当金は200円00銭であります。

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		既存事業 コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的 1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	%
通期	785,000	7.1	84,600	5.0	76,000 ~80,000	3.6 ~9.0	54,500 ~57,500	0.6 ~6.1	179 ~189	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の連結業績予想については、既存事業コア営業利益の5~10%の範囲内で積極的な新規事業投資を行っていくため、レンジ形式により開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無  
② ①以外の会計方針の変更：無  
③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	302,584,500 株	2024年3月期	308,584,500 株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	6,308,288 株	2024年3月期	4,507,522 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	299,852,903 株	2024年3月期3Q	304,058,047 株

当社は、2024年1月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益では前年同期比6.1%増の5,822億77百万円となりました。利益面では、既存事業コア営業利益(注1)は前年同期比7.4%減の674億45百万円、営業利益は前年同期比11.8%減の605億円、税引前四半期利益は前年同期比12.5%減の620億56百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比11.2%減の435億77百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益では前年同期比4.8%増の5,752億34百万円、既存事業コア営業利益は前年同期比9.3%減の660億27百万円となりました。(注2)

当社グループは、2030年に向けた「中長期成長戦略2030」に基づき、ビジョンの実現と持続的成長に向け、成長戦略テーマである①既存事業のキャッシュ創出力強化、②EARTH FOOD CHALLENGE 2030、③新規事業の推進に取り組んでおります。

(注1) 既存事業コア営業利益とは、営業利益から新規事業にかかる損益及び非経常損益としての「その他収支」を控除したものであり、中長期成長戦略上2022年3月期以降積極的かつ継続的な先行投資を予定する新規事業にかかる損益を分離し、その成長投資の基盤となる既存事業の実質的な成長を測定することを目的に採用している指標であります。

(注2) 2025年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

## &lt;連結業績&gt;

(単位：百万円)

区分	2024年3月期	2025年3月期	対前年同期	
	自 2023年4月1日 至 2023年12月31日	自 2024年4月1日 至 2024年12月31日	金額	%
売上収益	548,922	582,277	33,354	6.1
既存事業コア営業利益	72,801	67,445	△5,356	△7.4
営業利益	68,559	60,500	△8,059	△11.8
税引前四半期利益	70,902	62,056	△8,845	△12.5
親会社の所有者に帰属する四半期利益	49,051	43,577	△5,474	△11.2

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

## ①日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類、カップライス類が売上を伸ばし、前年同期比で増収となりました。カップめん類では、「カップヌードル」、「日清のどん兵衛」、「日清焼そばU.F.O.」ブランドの主力商品は売上が堅調に推移し、さらに2024年10月発売の「日清の利きどん兵衛」シリーズ、2024年11月発売の「カップヌードル」“クセ旨”シリーズ冬限定商品が売上に大きく貢献し順調に推移しています。カップライス類では、「日清カレーメシ」シリーズが引き続き好調を維持しています。袋めん類では、2024年3月発売の「日清ラ王 3食パック」シリーズが順調に売上を伸ばしました。利益面では、増収による増益要因がありましたが、原材料価格や物流費の上昇等により減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比1.7%増の1,801億39百万円、コア営業利益(注3)は、前年同期比2.0%減の265億91百万円、営業利益は、前年同期比1.9%減の266億83百万円となりました。

## ②明星食品

明星食品(株)の販売状況は、多様なニーズに対応したマーケティング戦略が奏功し、カップめん類、袋めん類とも、前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、主力の「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが好調に推移したほか、「明星 ぶぶか油そば」が大きく伸ばし貢献しました。

袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き好調に推移しました。

利益面では、増収効果により、前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比6.8%増の341億11百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比19.2%増の27億75百万円、営業利益は、前年同期比19.3%増の28億49百万円となりました。

### ③低温・飲料事業

チルド事業は、新商品の「チルド 日清焼そばU.F.O.」が売上に大きく貢献したほか、「有名店シリーズ」、「麺の達人」等が好調に推移し、前年同期比で増収となりました。利益面では、売上増となったものの原価率の上昇等により前年同期比で減益となりました。

冷凍事業は、ラーメン類では「冷凍 日清中華 汁なし担々麺」、「冷凍 日清まぜ麺亭 台湾まぜそば」、パスタ類では「冷凍 日清もちっと生パスタ」、「冷凍 日清スパ王プレミアム」の各シリーズの売上が引き続き好調に推移し、また新商品の「冷凍 日清スパ王喫茶店」の貢献もあり、前年同期比で増収となりました。利益面では、増収効果により前年同期比で増益となりました。

飲料事業は、2024年9月末発売の「ピルクルひびアクティブ」や主力の「ピルクル400」、底堅い需要を捉える「十勝のむヨーグルト」シリーズなどが貢献し、前年同期比で増収となりました。利益面では、原材料費や物流費・マーケティング費用等の増加がありましたが、増収効果により前年同期比で増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比7.3%増の767億65百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比2.1%増の74億1百万円、営業利益は、前年同期比2.0%増の74億60百万円となりました。

### ④菓子事業

榊湖池屋は「湖池屋プライドポテト」シリーズ等の高付加価値商品に加え、新機軸商品「ランチパイ」、「クラッシュ」等の販売が拡大、また、国内外での価格改定等が奏功したことで堅調に売上を伸ばしました。利益面では、原材料費等の増加や国内における広告投資を増収効果と海外事業の利益改善によりカバーし、コア営業利益で引き続き増益を確保しました。日清シスコ(株)は「ごろグラ」や「シスコーン」シリーズといったシリアルに加え、「ココナッツサブレ」シリーズ等が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。ぼんち(株)は「ぼんち揚」、「ボンスケ」等のファミリーパックやバリュープライスアイテムが好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比10.3%増の697億85百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比13.1%増の53億59百万円、営業利益は、前年同期比9.4%増の50億46百万円となりました。

### ⑤米州地域

米州地域全体では、引き続き新たな需要創造に向けた高付加価値商品の提案強化や導入推進に取り組んでいます。

売上については、米国では一部流通で販売数量が減少するも為替影響が補完し増収、ブラジルでは生産体制の強化により、「Nissin Lamem」等の主力製品を中心に販売が増加したことで増収となりました。

利益については、米国における原材料費用および物流費用等の増加、ブラジルにおける原材料費用等の増加により、セグメント全体で減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比5.4%増の1,256億10百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比20.1%減の144億88百万円、営業利益は、前年同期比20.2%減の144億63百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比3.8%増の1,236億98百万円となり、コア営業利益は、前年同期比22.2%減の140億91百万円となりました。（注4）

### ⑥中国地域

中国地域においては、販売エリア拡大や中国版カップヌードル「合味道」ブランドの強化、及び高価格帯袋めんの販売拡大に取り組んでいます。中国大陸では景気回復が遅れている中、内陸部への販路拡大によりカップヌードル「合味道BIG」を中心にカップめんの販売が伸長しました。香港では、香港市民の消費行動の変化によって冷凍食品などの非即席めん商品の販売が減少しましたが、出前一丁などの袋めんの販売は堅調に推移しました。また、12月より豪州の冷凍食品会社「ABC Pastry」が連結子会社としてグループに加わりました。こうした状況の下、売上収益は即席めんの販売増により増収となりました。利益については、本業ベースでは主力の即席めん事業に注力した結果、非即席めん事業が伸び悩みました。一方で為替影響もあったことで前年同期並みの水準となりました。営業利益ベースでは主に中国大陸において固定資産に対する減損損失を計上したことにより減益となりました。

この結果、当報告セグメントにおける売上収益は、前年同期比9.6%増の535億29百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比0.2%増の53億61百万円、営業利益は、前年同期比47.2%減の28億39百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比3.1%増の503億80百万円となり、コア営業利益は、前年同期比5.6%減の50億55百万円となりました。（注4）

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んだ「その他」の売上収益は、前年同期比14.3%増の423億35百万円、コア営業利益（注3）は、前年同期比10.8%減の88億44百万円、営業利益は、前年同期比10.1%減の87億84百万円となりました。

なお、為替変動による影響を除くと、売上収益は、前年同期比8.9%増の403億53百万円となり、コア営業利益は、前年同期比18.0%減の81億30百万円となりました。（注4）

（注3）コア営業利益とは、営業利益から非経常損益としての「その他収支」を控除したものであります。

（注4）2025年3月期の外貨金額を、前年同期の為替レートで円換算して比較しております。

## （2）当四半期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの資産合計は、前連結会計年度末に比べ560億68百万円増加し、8,684億51百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に現金及び現金同等物が107億23百万円減少した一方、有形固定資産が274億53百万円、棚卸資産が117億29百万円、持分法で会計処理されている投資が102億35百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ731億51百万円増加し、3,505億24百万円となりました。これは主に非流動負債の社債及び借入金が600億95百万円、流動負債の借入金が216億42百万円増加したことによるものであります。

資本につきましては、前連結会計年度末に比べ170億82百万円減少し、5,179億27百万円となりました。これは主に自己株式が109億57百万円増加（資本は減少）したことによるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末の60.7%から55.2%となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、859億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億23百万円の減少となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は391億49百万円（前年同期比267億45百万円の資金の減少）となりました。これは主に運転資金等の増加が239億2百万円、法人所得税の支払額が183億69百万円となった一方、税引前四半期利益が620億56百万円、減価償却費が248億68百万円となったことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は592億85百万円（前年同期比200億8百万円の資金の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が529億67百万円となったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は108億59百万円（前年同期比319億2百万円の資金の増加）となりました。これは主に自己株式の取得による支出が317億19百万円となった一方、社債の発行による収入が498億29百万円となったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	96,659	85,935
営業債権及びその他の債権	116,407	125,298
棚卸資産	64,060	75,789
未収法人所得税	1,137	1,382
その他の金融資産	18,752	17,760
その他の流動資産	7,832	13,382
流動資産合計	304,849	319,549
非流動資産		
有形固定資産	315,573	343,027
のれん及び無形資産	12,207	19,165
投資不動産	7,231	7,254
持分法で会計処理されている投資	95,577	105,812
その他の金融資産	59,228	56,321
繰延税金資産	16,619	15,708
その他の非流動資産	1,095	1,612
非流動資産合計	507,533	548,902
資産合計	812,382	868,451

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	161,453	156,566
借入金	12,941	34,583
未払法人所得税	7,819	7,802
その他の金融負債	4,905	4,557
その他の流動負債	26,377	24,943
流動負債合計	213,498	228,454
非流動負債		
社債及び借入金	21,911	82,006
その他の金融負債	17,037	16,812
退職給付に係る負債	5,293	5,369
引当金	469	325
繰延税金負債	16,408	14,659
その他の非流動負債	2,753	2,896
非流動負債合計	63,874	122,069
負債合計	277,372	350,524
資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	44,054	39,804
自己株式	△11,341	△22,299
その他の資本の構成要素	65,570	64,381
利益剰余金	369,779	371,998
親会社の所有者に帰属する持分合計	493,185	479,007
非支配持分	41,824	38,920
資本合計	535,010	517,927
負債及び資本合計	812,382	868,451

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上収益	548,922	582,277
売上原価	351,328	374,751
売上総利益	197,593	207,525
販売費及び一般管理費	138,293	153,314
持分法による投資利益	9,589	9,020
その他の収益	1,131	994
その他の費用	1,460	3,725
営業利益	68,559	60,500
金融収益	3,125	3,378
金融費用	783	1,821
税引前四半期利益	70,902	62,056
法人所得税費用	18,312	15,710
四半期利益	52,590	46,346
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	49,051	43,577
非支配持分	3,538	2,769
四半期利益	52,590	46,346
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	161.32	145.33
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	160.32	144.40

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	52,590	46,346
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融資産	5,991	△1,970
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△4,513	1,877
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,478	△93
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△48	50
在外営業活動体の換算差額	8,795	△1,240
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	7,061	3,244
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	15,808	2,055
税引後その他の包括利益	17,286	1,961
四半期包括利益	69,877	48,308
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	65,174	44,214
非支配持分	4,702	4,093
四半期包括利益	69,877	48,308

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2023年4月1日 残高	25,122	43,585	△11,431	2,933	6,655	33	20,796
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	7,643	△48	5,979
四半期包括利益合計	—	—	—	—	7,643	△48	5,979
自己株式の取得	—	—	△8	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	52	△32	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	122	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△189	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	△1,182
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△66	43	△32	—	—	△1,182
2023年12月31日 残高	25,122	43,518	△11,387	2,900	14,299	△14	25,593

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2023年4月1日 残高	3,584	34,003	339,147	430,427	37,522	467,949
四半期利益	—	—	49,051	49,051	3,538	52,590
その他の包括利益	2,547	16,122	—	16,122	1,164	17,286
四半期包括利益合計	2,547	16,122	49,051	65,174	4,702	69,877
自己株式の取得	—	—	—	△8	—	△8
自己株式の処分	—	△32	△19	0	—	0
配当金	—	—	△15,709	△15,709	△1,095	△16,804
株式に基づく報酬取引	—	—	—	122	—	122
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△189	108	△81
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	4,418	3,235	△3,235	—	—	—
その他の増減	—	—	127	127	△79	47
所有者との取引額合計	4,418	3,203	△18,837	△15,657	△1,066	△16,723
2023年12月31日 残高	10,551	53,329	369,361	479,944	41,158	521,103

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
2024年4月1日 残高	25,122	44,054	△11,341	2,869	21,802	39	29,609
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,565	50	△1,968
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△2,565	50	△1,968
自己株式の取得	—	△46	△31,672	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△16	46	△27	—	—	—
自己株式の消却	—	△135	20,668	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	116	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分変動	—	△4,167	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	—	—	—	15
その他の増減	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△4,250	△10,957	△27	—	—	15
2024年12月31日 残高	25,122	39,804	△22,299	2,841	19,237	89	27,655

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素				非支配持分	合計
	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	利益剰余金	合計		
2024年4月1日 残高	11,249	65,570	369,779	493,185	41,824	535,010
四半期利益	—	—	43,577	43,577	2,769	46,346
その他の包括利益	5,121	637	—	637	1,324	1,961
四半期包括利益合計	5,121	637	43,577	44,214	4,093	48,308
自己株式の取得	—	—	—	△31,719	—	△31,719
自己株式の処分	—	△27	—	1	—	1
自己株式の消却	—	—	△20,533	—	—	—
配当金	—	—	△22,633	△22,633	△1,416	△24,049
株式に基づく報酬取引	—	—	—	116	—	116
支配継続子会社に対する持分変動	—	—	—	△4,167	△5,573	△9,740
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△1,814	△1,798	1,798	—	—	—
その他の増減	—	—	9	9	△8	0
所有者との取引額合計	△1,814	△1,826	△41,358	△58,392	△6,998	△65,390
2024年12月31日 残高	14,557	64,381	371,998	479,007	38,920	517,927

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	70,902	62,056
減価償却費	23,260	24,868
減損損失(又は戻入れ)	160	2,659
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△236	△225
金融収益及び金融費用	△2,440	△1,330
持分法による投資損益(△は益)	△9,589	△9,020
固定資産除売却損益(△は益)	213	147
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,277	△11,790
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△16,726	△8,444
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	11,365	△3,667
その他	△1,272	△4,575
小計	67,360	50,677
利息及び配当金の受取額	7,271	7,379
利息の支払額	△630	△1,800
法人所得税の支払額	△11,176	△18,369
法人所得税の還付額	3,070	1,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	65,895	39,149
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,663	△8,921
定期預金の払戻による収入	927	7,293
有形固定資産の取得による支出	△36,495	△52,967
有形固定資産の売却による収入	62	238
無形資産の取得による支出	△308	△588
投資の取得による支出	△136	△113
投資の売却、償還による収入	2,583	82
有価証券の売却による収入	—	4,384
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△8,496
その他	△1,247	△197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,277	△59,285
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	△953	16,777
長期借入れによる収入	6,317	18,324
長期借入金の返済による支出	△4,925	△4,687
社債の発行による収入	—	49,829
自己株式の取得による支出	△8	△31,719
配当金の支払額	△15,709	△22,633
非支配株主への配当金の支払額	△1,095	△1,416
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△81	△9,527
その他	△4,587	△4,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,043	10,859
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,771	△1,446
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,345	△10,723
現金及び現金同等物の期首残高	87,388	96,659
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,733	85,935

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、その経営成績を定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社制を採り、国内8事業会社、海外4地域を戦略プラットフォームとして即席めん事業、低温・飲料事業、菓子事業を展開し、「日清食品」、「明星食品」、「低温・飲料事業」、「菓子事業」、「米州地域」、「中国地域」を報告セグメントとしております。「日清食品」、「明星食品」、「米州地域」、「中国地域」は主として即席袋めん及びカップめんを製造販売し、「低温・飲料事業」はチルド製品、冷凍製品及び飲料製品を製造販売し、「菓子事業」は菓子製品を製造販売しております。

(2) セグメント収益及び業績

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度において適用した会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	177,105	31,934	71,542	63,257	119,179	48,846	511,867	37,054	548,922	—	548,922
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	1,043	4,472	622	369	36	2,355	8,899	31,111	40,011	△40,011	—
計	178,149	36,407	72,165	63,626	119,216	51,202	520,767	68,165	588,933	△40,011	548,922
セグメント利益 (営業利益)	27,204	2,388	7,310	4,614	18,129	5,380	65,028	9,771	74,799	△6,239	68,559
金融収益											3,125
金融費用											783
税引前四半期利益											70,902
その他の項目											
減価償却費	10,785	1,590	1,907	2,207	1,769	2,555	20,816	2,411	23,228	32	23,260
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	160	160	—	160	—	160
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	9,589	9,589	—	9,589
資本的支出	7,219	1,065	1,373	3,112	17,905	3,920	34,596	5,275	39,872	△42	39,829

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△6,239百万円には、セグメント間取引消去等△353百万円、グループ関連費用△5,886百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	要約四半 期連結財 務諸表計 上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温・ 飲料事業	菓子事業	米州地域	中国地域	計				
売上収益											
外部顧客への売上収益	180,139	34,111	76,765	69,785	125,610	53,529	539,941	42,335	582,277	—	582,277
セグメント間の内部売 上収益又は振替高	1,261	4,831	701	182	65	2,273	9,315	33,291	42,606	△42,606	—
計	181,401	38,942	77,467	69,967	125,675	55,802	549,256	75,626	624,883	△42,606	582,277
セグメント利益 (営業利益)	26,683	2,849	7,460	5,046	14,463	2,839	59,342	8,784	68,126	△7,626	60,500
金融収益											3,378
金融費用											1,821
税引前四半期利益											62,056
その他の項目											
減価償却費	10,925	1,606	2,034	2,284	2,439	2,641	21,932	2,914	24,846	21	24,868
減損損失(非金融資 産)	—	—	—	—	—	2,659	2,659	—	2,659	—	2,659
持分法による投資損益	—	—	—	—	—	—	—	9,020	9,020	—	9,020
資本的支出	13,084	1,018	5,432	6,515	22,039	2,244	50,334	5,542	55,877	△0	55,877

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内のその他の事業並びに欧州地域、アジア地域、新規事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7,626百万円には、セグメント間取引消去等△190百万円、グループ関連費用△7,435百万円が含まれております。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。